

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山崎 智美
	全体計画		経費区分	-	内線	3519
事務事業名	4200 林道管理事業					
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課					
施 策	15012200 森林の多面的機能の維持保全と共生					
予算 科目	会計	01 一般会計				
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費				
	事業	050000 林道管理事業				
事業目的			事業概要・効果			
林道を維持修繕することにより、森林整備に資する。			森林整備のためには、林道の維持修繕は欠かせない。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
林道大古場線外路面整備工事 大谷不動線草刈り業務委託ほか	林道米子不動線法面保護工事 大谷不動線草刈り業務委託ほか
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		12,701	38,279
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	8,772
	地方債	0	7,500
	その他	0	0
一般財源		12,701	22,007
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	1,393.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,090.4	1,393.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.8
総額		14,791.4	39,672.6

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	59	消耗品11、燃料費48
12節 委託費	1,158	草刈払610、測量設計業務委託548
14節 工事請負費	11,481	修繕、整備工事11,481
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3	土地借上料3

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	66	消耗品19、燃料費47
12節 委託費	7,500	草刈払800、測量設計業務委託6,700
14節 工事請負費	30,710	修繕13,500、(道整備交付金)法面保護工事17,210
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3	土地借上料3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	市の管理する林道の維持管理は、効率的な林業経営と適切な森林整備の基盤であるために不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	台風によって荒れた林道を早期に整備したことで林業経営の安定的な継続につながった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	災害認定の対象にならなかった箇所を、材料を現地調達するなど低コストで施工し、より多くの箇所を施工できた。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

施工方法と優先順位の判断でより多くの箇所を修繕できた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
林道の維持管理業務は森林の保全に必要である。		森林保全を図るため、継続して行う必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	